

## 花壇用矮性ストック ホットケーキ・シリーズ

学名: *M. incana*

種子粒数の目安: 約600粒/グラム

### プラグ生産ステージ

#### 培地

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。土壌 pH は 5.5 から 6.0、また EC 値は 0.75mmhos/cm(2:1)以下が適正

#### 播種

##### プラグトレイ

288 から 400 穴前後のトレイサイズで 1 粒播きかが適当。播種後、覆土を行なう

#### ステージ 1 - 発芽には 3 から 4 日要する

**温度:** 発芽温度は 20-22°C が適正

**光条件:** 発芽時に光は不要だが、明るい方が有益

**水分:** 培地はやや湿潤(level 4)の状態を維持する

**湿度:** 子葉が発生する頃までは相対湿度を 95-97% に維持する。過湿条件にならないように注意が必要。プラグ生産の段階で過湿が続くと病気が入りやすくなる

#### ステージ 2

**温度:** 昼間は 15-21°C が、夜間は 13-15°C が適正

**光条件:** ステージ 2,3 では 26,900 ルクス(2,500 f.c.)までが適正な光条件

**水分:** ステージ 2,3 では培地の条件を中くらい(level 3)か、やや湿潤(level 4)で維持する

**肥料:** レート 1(100ppm(N)以下、EC 値が 0.7ms/cm)で、リン酸分の低い硝酸態の肥料を与える。培地は、pH が 5.8 から 6.2、EC 値が 0.7-0.5 ms/cm(2:1)で維持する

#### ステージ 3

ステージ 2 の終わりからステージ 3 にかけては、子葉の葉色で八重花個体の鑑別を実施するため、下記のような特別な低温条件を作り苗はそこで養生させる必要がある

**肥料:** ステージ 2 の肥料をレート 2(100-175ppm(N)、EC 値が 0.7-1.2ms/cm)まで上げる。培地の pH は 5.8 から 6.2、また EC 値は 0.7-1.0ms/cm(2:1)を維持する

#### ステージ 4

**温度:** 昼間は 15-21°C が、夜間は 10-13°C が適正

**光条件:** 温度条件が維持されるなら、53,800 ルクス(5,000 f.c.)までが適正な光条件

**水分:** 培地は中くらい(level 3)を維持。苗は一度しおれると容易には回復しないので、枯らせないように注意する

**肥料:** 上記ステージ 3 と同じ

**矮化剤(PGR):** この段階では不要

### プラグの八重花個体鑑別のガイドラインについて

八重花の咲く苗の個体は、十分な低温条件に置いた後で、子葉の葉色の違い(八重花の子葉はいくぶん薄いグリーン、あるいは黄色っぽい葉色)によって、それよりの葉色の濃い一重咲きの個体と識別することが可能。具体的な方法は以下のような段取りで進める

**オプション 1:** 子葉が完全に展開したら(播種後 11-12 日くらい)、苗を設定温度 4-7°C の低温の発芽チャンバーへ 3、4 日入れる。苗を低温のチャンバーへ入れる前に、トレイ全体がよく湿っていることを確認する。この期間、灯り(光)は不要。2 日目くらいからチャンバーに入れた苗の子葉の葉色が変わり始めるので、プラグトレイをしっかり監視して、状況を見ながらトレイを取り出す。低温チャンバーへ入れておくのは 4 日で十分であり、その後、苗は通常のハウスでやや低い温度条件(10-15°C)で鑑別を行う時まで順化させる。低温チャンバーから取り出した苗は、子葉の葉色を分けることが容易である。鑑別作業の前や最中に直射日光や強い日を苗にあてないように注意する。強い日が当たると、葉色の違いが識別しにくくなります。通常は、この作業は早朝に行なうことが望ましい

**オプション 2:** 低温チャンバーや低温施設を利用できない場合は、例えばハウスの外で遮光などをしながら、なんとか条件に必要な低温 (10-15°C) が実現できるように工夫が必要。この場合、八重花個体の鑑別のタイミングまた容易性については、どのくらい要求低温に近い条件が設定できたかに拠ります

**ヨーロッパのトライアル試験より:** ヨーロッパで試験的に子葉の葉色の識別をカメラによって自動化で行ったところ、八重群と一重群に識別されることが確認された。カメラを使った場合の手順としては、5°C のチャンバーに 5 日間入れ、そこから出してハウスで順化させ、3 日目に八重鑑別を実施した。

## 鉢上げから出荷まで

### コンテナサイズ

鉢上げは、カットパックから、9cm あるいは 10.5cm のポットが適当

### 培地(用土)

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。土壌 pH は 5.8 から 6.2 が適正、培地の初期の養分量は中庸

### 温度

昼間: 15-21°C

夜間: 10-13°C

ホットケーキ・シリーズは、上記のような低温条件のもとで最良の開花揃いや全体的な株質の良さを発揮できる品種。植物自体は、上記の望ましい温度域外でも育つことは可能だが、最良の性質が発揮されない場合もある

### 光条件

健康な株に育てるため、適切な温度管理が可能であれば、できるだけ光(日照)にあてるようにする

### 肥料

移植の後 1 週たってから、リン酸分の低い硝酸態の肥料をレート 3(175-225ppm(N)、EC 値が 1.2-1.5mmhos/cm)で与える。株の生育と培地の pH の状況を見ながら、必要に応じてアンモニア態と硝酸態とのバランスを調整する。pH は 5.8-6.2 を、また EC 値は上記の範囲を維持するよう努める。pH の値が高くなると、鉄分の欠乏によって、葉(とくに若葉)の葉脈の間にクロロシスがてき面に現れるので注意する。肥料分が多過ぎると大葉になったり葉に斑点が現れたりするが、一方で少なすぎても葉が小さすぎたり下葉が黄色化することがあるので注意が必要

## 矮化剤(PGR)を用いた管理

下記のように地理的、気候的に特殊な場合を除いて矮化剤は不要

### 北ヨーロッパのような条件:

ほとんどの場合、矮化剤の使用は不要だが、高温であって日照量が少ないような特殊な条件では、矮化剤の使用が必要となるときがある。そのような場合は、B-ナイン 3,200ppm を1から3回、葉面に散布することで効果が確認されている

### 平均的な生産期間

播種から移植まで: 約 4 週(288 から 400 穴前後のトレイ)

移植から出荷(開花)まで: 作型によって 4 から 7 週

播種から出荷(開花)まで: 作型によって 8 から 11 週

### 注意点:

- 同品種を生産するにあたって、ここで示されている栽培情報は基本的な参考資料としてお使いください。生産物は、気候条件や地理的な緯・経度、また作型の時期、ハウスの環境によって結果が異なることがあります
- 殺虫・殺菌剤、また矮化剤を用いる場合は、必ずガイドラインによる使用方法を遵守しましょう。当該の規定や条例のもとで、注意書きをよく読み正しく使用することが、使用者の責務です

**注意点:** EC 値(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、土を用いた配合では適合し得ない場合があります。

# PanAmerican Seed™

[PanAmSeed.com](http://PanAmSeed.com)

PanAmerican Seed Co.  
622 Town Road  
West Chicago, Illinois USA 60185-2698  
630 231-1400  
Fax: 630 231-3609

PanAmerican Seed Europe BV  
Lavendelweg 10  
NL-1435 EW Rijsenhout, Holland  
+31 (0)297-383038  
Fax: +31 (0)297-383036

©2006 Ball Horticultural Company Japanese translation version  
Originally printed in USA as PAS06196 12/06

™ および®は、アメリカ合衆国およびその他の国における Ball Horticultural Company の登録商標です